

第一問

次の本文を読んで、以下の設問に答えなさい。

私たちが食を変えたのか、それとも食が私たちを変えたのか

人類の長い歴史の時間軸で考えれば、たぐさんの食べものの中から自分の食べたいものを選ぶようになったのは「最近」のことです。人類は250万年にわたって、植物を採集し、動物を狩り、食物にしてきました。これらの動物は、人間の存在とは関係なく、繁殖していました。しかし、1万年ほど前になると、私たちの祖先は、より多くの穀物や肉を手に入れるために、種を蒔いて、作物に水をやり、動物には餌を与え、草地に動物を移動させました。

(ア) イスラエルの歴史学者ユヴァル・ノア・ハラリ氏は、ホモ・サピエンスが文明を築いた重要な3つの革命として、認知革命と科学革命とともに、この「農業革命」を挙げています。

しかし、人類はこの農業革命によって、「手に入る食料の総量を増やすことができたが、実際はより良い食生活をもたらしたとは限らず、人口爆発と階級格差の誕生につながった」とハラリ氏は語っています。平均的な農耕民は、平均的な狩猟採集民よりも苦勞して働いたのにもかかわらず、見返りに得られる食べものは劣っており、農業革命は、「史上最大の詐欺」であったと言っています。

農業革命以前の狩猟採集をしていた際の人類は、多種多様な食べものを食べ、小麦や米などの穀物はその中のほんの一部を占めていたに過ぎませんでした。それが農業革命後は、穀類が食事の主体となり、現代の私たちの食生活、身体、

A

社会全体にも影響を及ぼすことになりました。

農業革命によって、小麦、稲、ジャガイモといった一握りの植物が世界中に広がっていきました。

B

、1万

年前、小麦は、中東の狭い地域に生えるただの野草のひとつでした。それがほんの数千年のうちに世界中で生育されるようになりました。それらの植物からみれば、人が小麦や稲の栽培を ^(イ) 能動的に行ってきたのではなく、「自らの種の保存に有利な形で人を操ってきた」と言えます。食が私たちが改良し、その結果、私たちが「食の産物」として C 側面があります。

食が変えてきた私たちの身体、心、環境

約700万年前、私たちの祖先の人類は、チンパンジー類と分岐し、初期の人類であるアウストラロピテクス属を経て、今に続くヒト属へと進化しました。その際、人間になれる可能性のあったヒト属は25種類ほどいたと言われます。しかしそのうちの1種、 D 私たちの祖先であるホモ・サピエンスだけが今日まで生き延び、残りはすべて絶滅してしまいました。

ホモ・サピエンスと同様、生き残る可能性 ^(ロ) の高かったのが、ネアンデルタール人です。ネアンデルタール人はアフリカからいち早くヨーロッパへ移動するなど、ホモ・サピエンスの最大のライバルでした。 E 、体のサイズや腕力もホモ・サピエンスより圧倒的に勝 ^{まひ} っていました。しかし、ネアンデルタール人は最終的には絶滅してしまいました。

なぜ、ネアンデルタール人が滅び、ホモ・サピエンスが生き残ったのでしょうか。理由のひとつとして考えられている ^(ハ) のが、「食性」です。残された骨の酸素や炭素の同位体比を測ると、ホモ・サピエンスは、何でも食べていたことがわかっています。急激な気候の変化などで食べものが少ない環境下であっても、ホモ・サピエンスは「雑食」となったことで、飢餓 ^{きが} のリスクを減らし、その結果、あらゆる地域に棲 ^す み、繁殖し、そして農業まで始めるようになりました。

しかし「雑食」を選択したということは、同時に「ひとつの食品を自分たちにとつての唯一の完全食品とする」^①の
 を捨てたことを意味します。ホモ・サピエンスが雑食を選んだ瞬間に、私たちは「今日、何を食べようか」と考えるこ
 とを宿命づけられました。

私たちは何でも食べられる雑食動物だからこそ、食べものや食べ方を間違えれば、身体は肥満や病気になる。雑
 食になったことで、食事の選択肢は増えましたが、食べものを選ぶ悩みも増えたといえます。

イギリスの結晶物理・生物物理学者で、20世紀最大の科学啓蒙家けいもうの一人であったジョン・デスモンド・バナールは、
 1929年出版の著書『宇宙・肉体・悪魔』の中で壮大な人類未来論を展開しています。

タイトルの「宇宙・肉体・悪魔」とは、人間の頭脳の創造活動に基づく人類の未来の進化を妨げるさまた「物理的」「生理
 的」「心理的」な制限のことをそれぞれ指しています。つまり、人の環境、身体、心の制限を取っ払ってしまえば、人
 類がもつさまざまなブレイクスルー*を引き起こせるのではないかと暗示させる表題です。

食は、バナールが指摘した「宇宙・肉体・悪魔」を実際に変えてきました。すなわち、食べものが、人の健康や病気
 による「身体」、社会の思想やアイデンティティ、個人の心理という「心」、農業、キッチン、食卓などの「環境」を変
 化させた大きな要因となっています。

前述したハラリ氏は、ひとつの戦争で歴史が変わることは非常にまれであり、実際に歴史の流れを変えてきた②のは、
 偉人でも英雄でもなく、小麦、米、トウモロコシといった穀物や、大豆、ジャガイモのような農作物の③普及だったと
 言っています。

ヨーロッパ人がアメリカ大陸を発見し、(エ)セイフクに至ったのは、アメリカでジャガイモを発見したからです。当時、

南アメリカでしか栽培されていなかったジャガイモをヨーロッパに持ち帰ったことで、やがて世界中に広まりました。今日、ヨーロッパ、アジア、アフリカのほとんどの地域でジャガイモが食べられており、ジャガイモ^①の^②ない食生活は考えられません。日本でも大陸から渡って来た稲が、私たちの食生活を変えただけでなく、年貢という税金となって社会制度の基盤を作り、原生林を里山へと変え、人間の体型をも変化させてきました。

広い範囲で人々の人生を変えたという点で、

F

強い影響があったといえるでしょう。

(石川伸一 『「食べること」の進化史 培養肉・昆虫食・3Dフードプリンタ』より一部改変)

(注)

* ブレイクスルー……英単語 breakthrough。妨害・難関の突破、突破口を意味し、科学技術などが飛躍的に進歩することをなどもさす。

問1 二重傍線部①「の」と用法が同じものを、②～⑤の中から過不足なく選んだものとして、最もふさわしいものを次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① b c
- ② b f
- ③ c d
- ④ c d e
- ⑤ c d e f

問2

傍線部（ア）の人物が語った内容と一致するものとして、最もふさわしいものを次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 農業革命によって、手に入る食料の総量を人類は増加させることができたものの、実際はより良い食生活をもたらしたとは限らず、階級格差の誕生と人口爆発につながった。
- ② 人類は農業革命によって、手に入る食料の総量を増やすことを可能にした。だが、実際はより良い食生活をもたらしたため、人口爆発かつ階級格差の誕生につながった。
- ③ 農業革命によって、人類は手に入る食料の総量を増やすことは可能になったが、実際はより良い食生活をもたらしたわけではなく、階級格差の誕生や人口爆発につながった。
- ④ 人類は農業革命によって、手に入る食料の総量を増加させることができた。しかしながら、実際はより良い食生活をもたらした上に、人口爆発または階級格差の誕生につながった。
- ⑤ 農業革命によって、人類は手に入る食料の総量を増加させた。しかし、実際はより良い食生活をもたらさず、階級格差の誕生と人口爆発につながった。

問3

傍線部（イ）「能動的」の用法として、ふさわしくないものを次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 彼はめんどごうな仕事に能動的に取り組んでいる。
- ② 彼は常に消極的にふるまうため、能動的に仕事を行った。
- ③ 彼の印象を問われれば、能動的な人だと答えるだろう。
- ④ 彼女は今までの自分を変えて、能動的に生きている。
- ⑤ 彼女はいつも能動的に振る舞っている。

問4

傍線部（ウ）「普及」の「及」の読みと、傍線部に当てる漢字の音読みと同じ読み方がないものとして、最もふさわしいものを次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① ゴミのおいをかぐ。
- ② きれいな空気をスう。
- ③ 問題の解決はキワめて難しい。
- ④ 腐つてクちそうな橋を渡る。
- ⑤ 彼はいつまでもナき続けた。

問5

傍線部（エ）「セイフク」の「セイ」に当てる漢字の偏と、傍線部に当てる漢字の偏が異なるものとして、最もふさわしいものを次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 彼はビミョウな表情をした。
- ② テツヤで試験の勉強をする。
- ③ 彼女の努力はトロウに終わった。
- ④ 政治家は発言をテツカイした。
- ⑤ 年会費をチヨウシユウする。

問6 空欄

A	B	D	E
---	---	---	---

中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

に入れることばの組み合わせとして、最もふさわしいものを次の

- ① また―たとえと―言い換えれば―さらに
- ② として―たとえるならば―すなわち―ちなみに
- ③ さらに―例として―まさしく―なお
- ④ として―たとえば―つまり―また
- ⑤ また―例をあげると―やはり―そして

問7

空欄

C

に入れるのに最もふさわしいものを次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 進化していこうとする
- ② 退化せざるをえなくなっている
- ③ 進化しようとしている
- ④ 退化への道をたどっている
- ⑤ 進化させられている

問8

空欄

F

に入れるのに最もふさわしいものを次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① ジャガイモや米といった食べものよりも、過去の戦争の方が少しは
- ② ジャガイモや米といった食べもののように、過去のあらゆる戦争は非常に
- ③ 過去の多くの戦争のように、ジャガイモや米のような食べものは少なからず
- ④ 過去のさまざまな戦争と同様に、ジャガイモや米といった食べものはあまりにも
- ⑤ 過去のいかなる戦争よりも、ジャガイモや米といった食べものの方がはるかに

第二問

次の本文を読んで、以下の設問に答えなさい。

太陽の周期のみに従って行動する多くの生物種と違い、人間は人工照明や冷暖房機を使うことで、望む時間に望む行動をすることが可能です。しかし、人間の身体aのタイシヤbなどの状態は、他の多くの生物種同様に、太陽の昇り降りの周期によって調整される体内時計（生物時計）がツカサドbるリズムに依存して変動しています。そのため、体内時計のリズムに合わないような生活習慣を続けると、さまざまな心身の問題が生じるようになります。

また、技術の革新を繰り返すことによつて、人間の移動速度はどんどん上昇しています。自分の足で歩いたり走ったりするのと比べると、数倍から数万倍の速度で遠くへ行くことが可能になっています。そうした高速移動の中では、従来の移動速度では深刻な問題を引き起こさなかつた知覚や認知の限界、制約が、致命的なトラブルにつながりかねません。

（中略）

行動様式に関しても、長い進化の過程では合理的かつ適切であつたものが、改変された新しい生活環境においては合理性を失い、Aものが散見されます。たとえば食物を得て、食べるといふ行動習慣がそうです。

現在の野生動物の生活状況を見ると、初期の人類も、食物を採取できる機会はそれほど多くなかつたはずで、むしろ、長い期間にわたつて食物にありつけず、飢えることもしばしばあつたと考えられます。そうした状況では、食べられるものがあつた場合、保存せずにすぐそれを摂取することが生存のために適切であつたと言えるでしょう。

四季のある地域では、食物を見つけやすい季節と見つけにくい季節とがありますが、人間以外の野生の霊長類の行動様式を見ても、多くの食物が得られた際に、それを保存して、食物の少ない時期にそれを食するという行動様式を持つ

ものはいないようです。

我々の先祖は、おそらくは食物の蓄えなどしなかった時期が長かったと思われる。また、食物だけではなく、家財や衣服などについても、「蓄える」という行動様式はあまりなかったものと思われる。

蓄えるということは、Bです。そのためには、蓄えに割り当てられるだけの大量の収穫や、保存の技術、将来の状態に対する予測や期待などが必要です。当然、今現在をなんとか生き延びることがやっとなという余裕がない状況であれば、そういった行動様式は可能になりません。

そして、蓄えることと同様、人類進化の過程で長らく馴染みのなかつたものに「預ける」という行動様式があります。この場合も、蓄えると同様、将来への予測や期待などが必要です。

現在の社会制度の中では、預けることで利息が発生しますが、この不労所得を得るためにいつまで預けるのか、というCが重要になります。しかし、不労所得は人類史においてずっと馴染みのない概念でした。だから利息の特性に対応した適切な判断をすることは、私たち人間にはとても難しいのです。直感的に判断した場合、思いもよらない損をしたり、得られるはずの利得を逃したりすることが多くなります。

このように、人間という生物種は利便性などの追求により、生活環境や行動様式を次々と作り変えるという点が際立った生物種です。しかし、新しい生活環境や行動様式は、進化の過程で接することがなかった初めてのものであるため、さまざまな問題を引き起こし得るのです。つまり、自然環境に対応して進化してきた知覚認知過程は、人工的な環境においては、常にDがある状態と言えます。

(中略)

作り変えられた新しい生活環境は、従来の進化の過程で獲得した知覚や認知システムでは、適切な情報を得るのが難しくなります。自然環境に適応してきたように、人工的な環境や新しい行動様式に適応的に進化することで問題を回避できないものでしょうか？ この問いに対する答えはかなりネガティブなものになりそうです。

なぜなら、E。環境に適応的な特性の個体がより多くの子孫を残すことによつて数世代かけて進行します。しかし、技術革新などによる変化は一世代のうちにも大きく変動するため、生物学的な進化の仕組みでは対応が難しいのです。そのため、生活環境や行動様式をFが失われない限り、これからも人間という生物種は、いつまでも非適応的な知覚を続けなくてはならないのです。

(一川誠『ヒューマンエラーの心理学』より一部改変)

問1 波線部 a 「タイシヤ」について、「タイ」と同じ部首の漢字を用いるものを次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① ホウケン主義から資本主義への移行について考える。
- ② この春はさまざまな小説とシイカを熟読する。
- ③ 優れた先行文献から大きなシサを受ける。
- ④ 人の意見を聞かず自説にヘンシユウする。
- ⑤ この契約は本年度でコウリヨクを失う。

問2

波線部b「ツカサドる」について、「ツカサド」と同じ漢字を用いるものを次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 政党のカンジ長に適切な人材を探す。
- ② 図書館のシショに本の場所を聞く。
- ③ 言動から相手の意図をカンシユする。
- ④ 長い英文の最後にシユウシフを打つ。
- ⑤ 辞意を表明した委員長をイリユウする。

問3

空欄

A

に入る最もふさわしいものを次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① とりわけ不道徳になる
- ② かえって進化をもたらす
- ③ 例えば飢餓状態におちいる
- ④ どうしても自然破壊を引き起こす
- ⑤ むしろ不適切になる

問4 空欄

B

に入る最もふさわしいものを次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 今は使わないものを将来の目的（摂取や使用）のために保持しておくこと
- ② 現在は必要のないものを未来の依存性（速度や移動）のために保管しておくこと
- ③ 過去には必要でなかったものを将来への予測（利息や不労所得）のために利用すること
- ④ 過去に利用できなかったものを生物学的な進化（適応や利得）のために投機すること
- ⑤ 先祖が採取できなかったものを未来への適応（貯蔵や預貸）のために置いておくこと

問5 空欄

C

に入る最もふさわしいものを次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 先祖が培った知識の活用
- ② 生物種特有の認知
- ③ 利息や所得に対する忌避の姿勢
- ④ 適切な将来予測
- ⑤ 倫理的な認識と感覚

問6
空欄

D

に入る最もふさわしいものを次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 先祖の苦勞をないがしろにしてしまうという、逆説的な性質
- ② 自然を逆に破壊してしまうという、悲しい現実
- ③ 人間を一番に考えてしまうという、利己的な感情
- ④ 居心地の悪さを拒否してしまうという、致命的な矛盾
- ⑤ 不適應を引き起こし得るといふ、潜在的な危険

問7
空欄

E

に入る最もふさわしいものを次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 生物種の革新の能力は永続的に画一化されたものだからです
- ② 通常の進化はゆっくりしたものだからです
- ③ 技術革新ばかりを考えて心を大切にしないからです
- ④ 今日の社会は少子化が大幅に進んでいるからです
- ⑤ 先祖よりも子孫を大切にしようとする思想があるからです

問8

空欄

F

に入る最もふさわしいものを次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 改変するという特性
- ② 道徳的に考えない傾向
- ③ 継承する流れ
- ④ 利息や所得で捉えない性質
- ⑤ 進化とともに保持する伝統

第三問

次の本文を読んで、以下の設問に答えなさい。

パラドックスという英語は、もともとギリシャ語で、「逆らう」「反対する」を意味する「パラ」と、「意見」「判断」を意味する「ドクサ」を合成した「パラドクサス」から来たらしい。一見正しそうだ但实际上は間違っていること、逆に一見間違っているようだが実際は正しいことを言う。日本語では「逆説」あるいは「逆理」と訳されているように、常識的な通説あるいは経験事実に対して、その逆こそが正しいと説く論説である。『広辞苑』第五版によれば、逆説とは「衆人の受容している通説、一般に真理と認められるものに反する説」とある。その説が正しい場合もあるし、間違っている場合もある。また、正誤の答が出ない場合もあるし、錯覚や勘違いに過ぎない場合もある。つまり、パラドックスは、私たちに思い込みによる間違いを気づかせてくれる神の役割をする場合があるとともに、私たちに真実などないのだという不可知論に陥らせる悪魔の役割をする場合もある。パラドックスは、ときには神となり、ときには悪魔となつて、私たちの目を開かせたり、私たちを混乱させたりするが、よくよく考えることの大事さを教えてくれるのは確かである。

【1】

A これはキリストの言葉だが、親鸞しんらんも、「善人なおもて往生をとぐ、いわんや悪人をや」(『歎異抄』)と言っている。悪に手を染めず、世間の規律をちゃんと守ってきた人間こそ極楽往生を遂げることができると考えるのが普通だが、B 親鸞はそれだけではないと言うのだ。たとえ過去の C ザイゴウざいごうが深くとも、その罪を自覚して悔い、自らを罪悪感で責め続けているなら、そのような悪人もいうまでもなく極楽往生ができる、と説く。人間は知らぬ間に罪を犯している。

人が困っているのを見て見ないふりをしたり、無情な言葉で他人を傷つけたり、無用の遊びで魚や獣を殺したり、正当な取引だとして貧乏人から金を取り上げたりしてはいないか。それを悪と自覚せず、自分は善人だと思い込んでい
る人間こそ罪が深い、というわけだ。

(中略)

【2】

右の例は、パロドックスを通じて、常識とか通念とされる言説を疑わせる効用を示している。もつと直截的に「急がばまわれ」とか「負けるが勝ち」というような真つ向から矛盾した表現を通じて、「急ぐこと」「負けること」の中身を考えさせ、とるべき心構えを教えてくれる場合もある。

【3】

また、ゼノンのパロドックス(「アキレスは亀を追い抜けない」)やオルバースのパロドックス(「夜空は明るい」)のように、日常的に経験している事実に対し、理屈からそうならないことを論証して私たちを考え込ませるものもある。私たちは、毎日のように眼にする事柄については、つい当たり前として疑うことなく受け入れてしまう。一般に、経験によつて得られた知識は、事実として眼で見ているだけに、そのまま信じ込んでしまうことが多い。しかし、よくよく考えてみれば、なぜそうなるのが簡単にはわからない事柄や、見かけの姿や運動をそのまま受け入れると間違ふような事柄も多い。たとえば、ブランコに乗った子供が誰も後ろから押さないのに大きく揺らせることができる理由とか、オーストラリアのアボリジニーが使っているブーメランを投げると戻ってくる理由など、その説明は意外に難しい。あるいは、^Dマサツのようなどこでも経験する現象は、未だに完全な説明がない。実は、私たちはよくわかっているよう

でいて、わからないことに取り囲まれているのである。また、太陽が東から西へ沈むのを見れば、誰でも太陽が地球の周りをまわっていると思うし、スプーン曲げを目の前で見せられると、念力で曲げたと思ひ込まれてしまう。あるいは、テレビが大声で繰り返し報道すれば、いかにも本当のことのように思えてしまい、実際はどうであるかを考えなくなってしまう。

【4】

そのような、「E」
 「E」として眼で見えてはいても「F」
 「F」を知っているわけではない、ということに気づかせてくれるのがパラドックスのもう一つの効用である。ゼノンが次々とパラドックスを持ち出して人々に論争を挑んだのは、独裁者である僭主せんしゅが振りまく調子のよい喧伝けんでんの裏には、恐ろしい魂胆が隠されていることを気づかせるためであつたと言われる。ゼノンは、ソクラテスの「汝自身なんじを知れ」（これもパラドックスである）の精神を、知っているようでも何もない日常の出来事にも広く適用したと解釈できる。また、オルバースは、「夜空は明るい」と論証して見せ、なぜ実際に夜空は暗いのか、宇宙はどのようになっていのか、を考えるきっかけを与えた。夜空の奥行きまで想像して考えることの大切さを、パラドックスによって示したのだ。パラドックスは、「E」
 「E」の底に隠れた「F」を探り出すために重要な役割を果たすのである。

【5】

G
 最後に、パラドックスは、世の中には決着がつかない命題も存在することを教えてくれる、という効用もあげておきたい。どのように論証しようとも矛盾が生じているため、その範囲内では何が真で何が偽であるか決定できない場合があるのだ。私たちは、必ず解が存在して安心立命できる世界に住んでいるわけではないのである。他にも、哲学、数

学、物理学、経済学など、さまざまな分野でパラドックスが論じられ、その解決のための論理の検証を通じて、新しい論理学や思考の盲点が発見されたり、常識の錯誤に気づかされたりしてきた。パラドックスは、真実を暴き出す神の顔を持つとともに、真実なんてないかと神に挑戦する悪魔の顔も持っている。

(池内了『物理学と神』より一部改変)

問1 問題文には次の文が脱落している。どこへ入れるのが最もふさわしいか。次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

たとえば、「貧しき者は幸いである」というパラドックスがある。一般には、幸せになるためには金がなければならぬという常識がある。しかし、たとえ金がなくとも心の持ちようで幸せは得られるし、もっと積極的に、金なんか持たない方が損得に囚われず、幸福になれる条件を備えていると解釈することができる。

- ① 【1】 ② 【2】 ③ 【3】 ④ 【4】 ⑤ 【5】

問2

傍線部Aの親鸞は鎌倉時代前期の僧である。親鸞の活躍した時代に成立した文学作品を次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 万葉集 ② 高野聖 ③ 雨月物語 ④ 源氏物語 ⑤ 新古今和歌集

問3

傍線部Bに関わるものとして、最もふさわしいものを次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 誰もが救済されるのであるから積極的な悪も許されるのである。
② 知らぬ間に犯す罪がある以上、救済を求めるのは無謀なことである。
③ 親鸞の教えを忠実に守れば何をしようが極楽へ行けるのである。
④ 極楽浄土を目指すために善行に励むのは本来的なものではない。
⑤ 罪を犯したとしてもその後の生き方こそが極楽へ通じるものとなる。

問4 傍線部Cの二重線部と同じ漢字を含むものを次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

C
ザイゴウ

- ① ゴウマンな人物にはなるまい
- ② 憧れの人をギョウシする
- ③ ゴウカな食事をいただいた
- ④ 国語のジュギョウを受ける
- ⑤ 彼にゲイゴウするのはよくない

問5 傍線部Dの二重線部と同じ漢字を含むものを次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

D
マサツ

- ① 情報機器がサツシンされた
- ② 問題に対するコウサツが不足している
- ③ サツエイ機材を用意する
- ④ サツバツとした雰囲気になった
- ⑤ 転んでサツカ傷を負った

問6 空欄

E

を補うのに、最もふさわしいものを次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 現実
- ② 世界
- ③ 事実
- ④ 神
- ⑤ 人間

問7 空欄

F

を補うのに、最もふさわしいものを次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 欺瞞ぎまん
- ② 本物
- ③ 嘘
- ④ 真実
- ⑤ 虚構

問8 傍線部Gに関わるものとして、最もふさわしいものを次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 決着がつかないのは人知の及ぶ範囲に限界があるからだ。
- ② 真実を追求することは時に争いを生むことになるが避けられないものだ。
- ③ 白黒はつきりさせずに折り合いをつけて生きていかなければならない。
- ④ パラドックスは平和な生活のために必要不可欠ということでもない。
- ⑤ 真偽に決着がつかなくとも努力を怠ることはしてはならない。

問9

本文の内容と合致するものとして、最もふさわしいものを次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 複雑な現代社会においては誰もが誤解なく信じられるシンプルな真理が求められる。
- ② パラドックスによつて真実に気づくことができる人間は限定的である。
- ③ 人間は常に間違いを犯すものだから、逆の判断こそを優先させるべきである。
- ④ 世の中の現象を表層的に理解すると、本質を見誤る恐れもありえる。
- ⑤ 逆説的な言辭は人々の判断に混乱を招くばかりであり注意が必要である。